

町の現況

昭和42.9.1現

世帯数 1,576 戸 (△2)

人口 6,461 人 (△6)

男 3,121 人 (△10)

女 3,340 人 (△4)

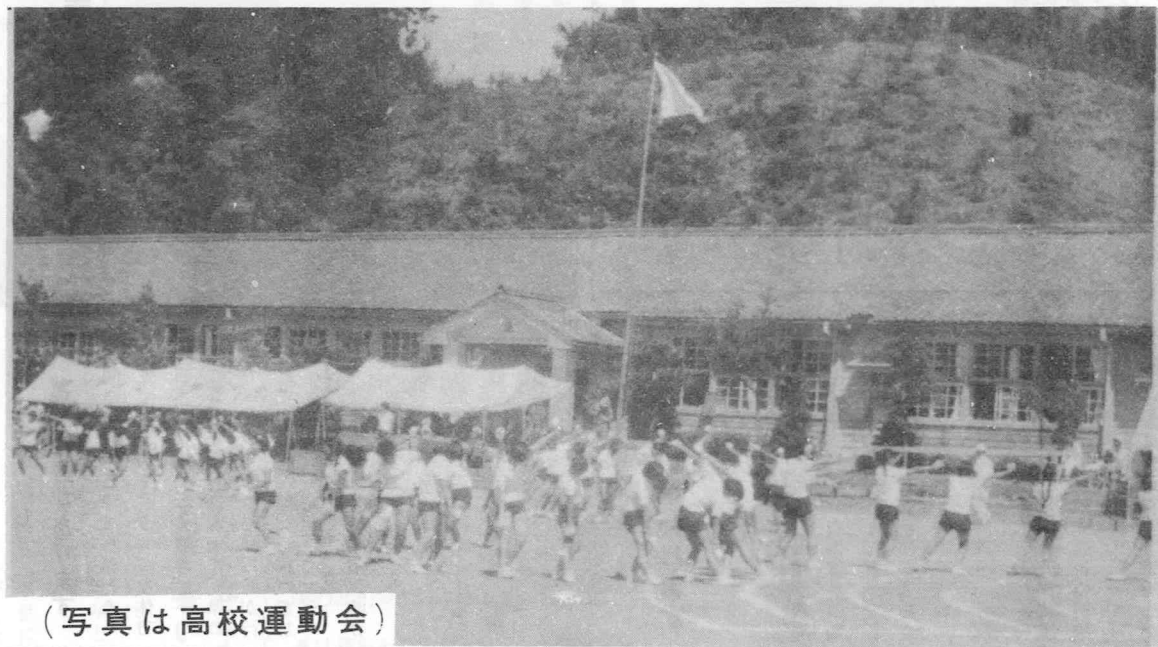
注(△)は前月比

広報
たじろ

No. 182

10月 42年

田代町総務課編集 毎月5日 1,650部発行



(写真は高校運動会)

主な内容

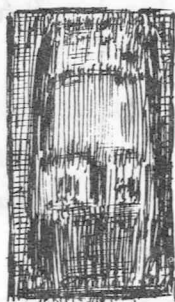
麓川改修工事をはじめ (2)

農家出稼者の調査の実施 (2)

畜産王国をめざして (3)

くらしのメモ (4)

知事賞に輝く作文 (4)

皆んな交通安全運動に
協力しましょう

明るい社会をつくりましょう。

スポーツによつて、強い体力と
組合対抗のソフトボール大会等た
くさんのスポーツ行事が計画され
ています。

十月十日は「体育の日」となつ
ています。

スポーツの秋

十月のこよみ

9月の気象

天 気 晴 23日 曇 5日
雨 2日
月間雨量 89 mm
気 温 最高 33.8 °C
最低 11.8 °C
平均 24.4 °C

4 水 町民運動会、小組合ソフト
大会打合せ

5 木 県畜産党進会(七日まで)

6 金 体力づくり巡回指導、国保
運営委員会

7 土 田代小、大原小中運動会

10 火 高校対策協議会高校視察

10 火 体育の日、小組合ソフトボ
ール大会11 水 町民運動会打合せ(小組合
婦人会等)、乳児三才児検
診(十三日まで)

12 木 田代校区婦人学級

14 金 畜産講座、大原校区婦人学

16 月 教育委員会、川原泳寿会、
級17 火 大原小修学旅行、保育所運
動会、インフルエンザ注射

(各学校月末まで)

18 水 目の無料検診(東部地区)

20 金 仔牛せり市、麗水寿会

上旬 田代中屋体入礼

中旬 臨時議会

税務課ではこの程町内の単車ナンバーの一切替を行いました。今回切替を行った単車は次のとおりです。都合によってまだ切替をされなかつた方は、単車をもって税務課までおいで下さい。

五〇〇以下二六七台
五一〇〇 二五七台
耕転機 七六台

お願い
九月二十八日、農協前においてあつた「ヤマハ」の五〇〇〇の単車に、まちがつて、白ナンバーの一二一番を取付けましたが、一二

単車ナンバー切替は済みましたか？

一番の持主がわかりませんので、その持主、または、一二一番の単車をお気付きの方はごめんどうですが、役場税務課までお知らせください。



畜産王国をめざして 草地改良事業はじまる

今後の畜産経営は、牧野による大規模経営にうつりつゝあるといわれます。

町もこのような動きに合せて、本年度から四十四年度までの三年計画によつて、内ノ牧地区に四〇ヘクタールの牧野造成を計画しました。牧野には百頭の生産牛を放牧し、ここで生産された優秀な仔牛は町内の各農家に配り、将来は田代町を和牛の一大生産地にしようとする計画です。

この程その初年度の事業が町の直営によつて実施され、十月末日までには完成することになっていす。(写真は工事現場)

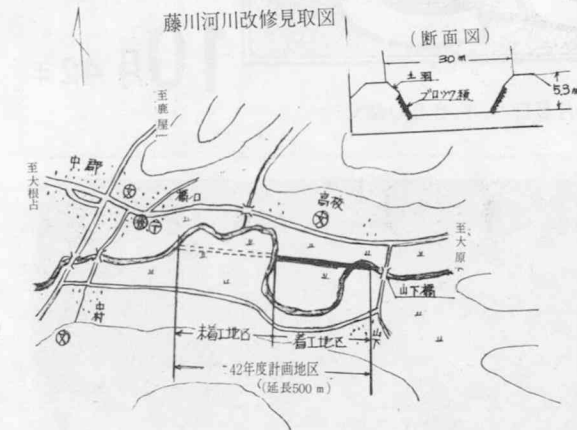


四十一年度 麓川改修工事始まる

麓川改修工事は去る昭和四十一年度から着工され、本年度で三年目に当ります。

本年度の工事は麓川でも最も曲折の甚しい、中村、山下前約五百米が計画され、その内半分は本町の田代建設によつて工事が初められています。

田代建設が工事を行つてゐるのは延長約二百五十メートルで、来年二月十日までに完成の予定です。残りの工事は十一月初めに着工され、三月末日までには完成する見込となつてゐます。



体力づくり

巡回指導があります

人間の生活にとつて基礎となるのは先ず健康です。りつぱな体力が明日への活力となります。

このような趣旨のもとに、県の主催で体力づくりの巡回指導が行なわれます。成人男女多数の参加を期待してゐます。

とき 十月六日(金) 午前九時から十二時まで

ところ 田代小学校講堂

服装 運動できる軽装とする
その他 当日は映画、講演、実技があります。

農家の

出稼者調査

が行なわれます

最近経済の成長に伴つて、農業と他の産業との所得差が広がり、農業から他の産業への出稼が増加しています。これらの出稼者の殆んどは、学校を卒業して就職する者と違つて、職業安定所を通らないため、労働条件、健康管理の面でいろいろ社会問題を起してゐる実情にあります。

このような出稼労働者の労働条件等を向上させ、社会問題の解決をはかると共に、一面においては不足する農家労働力の調整をはか

みんなそろつて しあわせに 共同募金に協力しよう

今年も十月一日から年末まで、共同募金運動が行なわれ、皆そろつてしあわせになるように、町民の皆様方の善意をお寄せください。



小作料が

改正されました

小作料は農地法によつて最高額が定められていますが、昭和四十二年九月一日から次のとおり引上げられました。

田(十五級) 一、三〇〇円
畑(十五級) 五七五円

畑(十五級) 三二八円 七九五円

右のように、田は約四倍、畑は二・五倍になつてゐます。現在の小作料を改めようとするときは、地主と小作人で話し合いの上この範囲内で取り決めてください。(農業委員会)

1. 出稼者の氏名、生年月日、世帯内での地位(世帯主等)
2. 出稼期間
3. 農業経営の状況
4. 家族構成
5. 出稼先の会社名 場所 給料
6. その他の状況
7. その他 (農業委員会)

神之川橋の

交通制限

国道二六九号線の神之川橋(大根占町神之川)は、補修のため次のとおり交通制限が行なわれていす。迂回路はないので、制限される車輛は中央線を利用ください。

制限車輛 荷重量八トン以上通行止

期 間 昭和四十二年九月十四日から十月十五日まで

薬と健康の週間

十月十五日から二十一日まで「薬と健康の週間」です。薬について次のことは是非守りましょう。

○薬の乱用をさけましょう。

薬は量をあやまるとかえつて健康を害します。医師の指示に従つて正しい服用をしましょう。

○毒薬等の保管に注意しましょう。

農薬その他の毒薬、げき薬は保管に充分注意して、事故のないようにしましょう。

この世で頼りになるものは

!!老いたる妻と老いたる犬それに貯蓄である

イギリスのことわざといわれ、一株の衰凋があつて、しみじみとしたものを感じさせます。

最近の世の中は、自分の子供にも頼れなくなつたようです。老後

10月10日は 目の愛護デーです

目の酷使は
止めましょう

目の愛護デー
(10月10日)



自衛官の

第三次募集が

行われています

防衛庁では優秀な自衛官を養成し、運転免許、無線士などいろいろな技術を身につけさせるだけでなく、その勤務生活がそのまゝ国の将来を担う若人の「人づくり」の場であるとして若人の志願をすすめています。

○二等陸海士の募集は常時行われますので希望者は町役場総務課へお問合せ下さい。

くらしの

メモ



△せんたく

十月にはそろそろ水がそろそろ冷たく感じられ、洗たく物のかわきも悪くなります。小さなものは入浴のついでに洗い、風呂場に小物の干し場を作つて、夜のうちに水をきつておく。翌日のかわきが早くなります。大物は翌朝風呂のおとし湯を利用すると、洗たくも苦になりません。冬型の洗たくのくふうです。

△寝間着 衣類の調節

寝間着をたのしいものに：寒さに向つて暖いきれいな寝間着つくりは家族への愛情です。

洋風、和風を問わず寝間着は長めにしましょう。十月はまた一日の

完納の手で育てよう

明るい田代

今月は県町民税の第3期分の納期です

知事賞に輝く作文

大原小学校

川辺イツ子さん

去る六月郵政省、文部省等の後援によつて「簡易保険全国児童生徒作文コンクール」が行われ、九州では三千余点の作品の中から大原小学校六年生、川辺イツ子さんの作文が見事知事賞に選ばれました。ここにその作文を紹介いたします。

ひでり

大原小学校 六年 川辺イツ子

学校からの帰りみち、隣のおばさん達が、田んぼの話をしていた。「この頃は、雨が降らずに稲が枯れてしまつて、どうしようもない。」

「もう、今日どま雨が降つてくるつとよかとなあ。」
などと口々に言つておられるのを耳にした。

!!アキスねらいに御用心

運動会のシーズンになりました

一家総でできるすをなされる時が多いと思います。この時期にはアキスが毎年のごとくたくさん発生しています。

(1) 一家そろつてお出かけのときは、戸締りに工夫をこらしましょう。外から見て一目でルースとわかるようなカギのかけ方は、かえつてアキス狙いをさそうこ

とになります。

(2) たくさんのお金は強盗がねらいます。

手持の現金はなるべく少くし、もし、たくさんの金を一時家に置くときは、なるべく分散しておきましょう

(3) 盗難にかつたら現場をそのままにして現在所(田代局一〇七)に連絡して下さい。

もしかしたら、うちのも枯れているのじやないかなあと、不安になつて、急ぎ足で帰つた。

家で父と母が、田んぼの話をしていた。

もう二週間近くも雨らしいものが降らないので植えたばかりの稲はたまつたものではない。

私は、カバンを机に置くと「家の田んぼは、どうなつてゐるの。」と聞いたが、父にうてを組んで考え込んでいた。

私は、去年のことを思い出した。

去年は虫にやられて米が足らず、おばさんの家から二、三俵借りて来たのだつた。今年は農薬をうんと撒布してよい米をとろうと、言つていた父だつた。

しばらく考えていた父は、急に立ち上がり「田んぼへ行つてみよう。」と、言つた。地下タビをはきながら「おまえも行くか。」といつた。私もくつをはいて出かけた。

田んぼは一キロ余りのところにある。父と私は足を急がせた。

田んぼへついであたりを見わたすと、植えた時とちがつて、やまぶさ色に変わつて、稲の葉がたれて

いる。溝口のところはひとしずくの水もかかつていない。用水路の底を、ちよろちよると流れている

水を、せきとめて、一時間余り、かけわたるのを見ていたが、焼けた

石に水で、なんにも役に立たない。父は「また来よう。」と田んぼから

はなれた。あきらめたような父は来るときとちがつて元気がない。

私たちが、しょんぼり帰ると、

炊事をしていた母が、心配そうに田んぼのようすをたずねた。黙つてみると、「やつぱり家ののも水が足らずに、枯れかゝつてゐたの。」と、尋ねたが、私は大きくうなずくと、机のところに行つた。

室のあじさいの葉の上には、しりじりと真夏のような太陽が、かけていた。父がカッターで、

の干し草もからからになつて、機械の音だけがいやにかん高く聞えてくる。こんな岡田の多い、私たちの村では、水あげの動力機械などもあまり役立たないし、恵の水は天にまかせる方法しかないのか

な。それでも大きなダムがあつたら、こんな日でのときはよいのになあ」と。社会科で勉強した、かんがい工事のことや、政治の力

のこと、多くの費用のことなどを考えた。こんな山間の私の村までほんとうに住みよい生活が、出来るように早くなつてほしいと思つた。

夕ごはんのとき、今日の田んぼのことを、兄や姉にも話してみた。兄は、あわてゝテレビのスイッチを押した。丁度天気予報だつた。あすあたりから梅雨前線が動きだすらしい。

それから二日目、稲尾の山が急に

にくもり、雨がバラバラ降り出した。干いた土のおいがしてくる。

私は、母と洗濯ものを急いで取り込んだ。雨は夜になつても止まらなかつた。私は田んぼの稲が緑色に輝いているのが見えるようだつた。